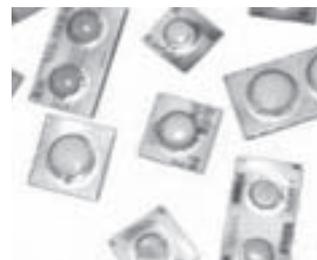


病院だより

薬の誤飲にご注意ください

町立和寒病院 薬局長 宿谷 高典

高齢になると、視覚や味覚等の衰えや認知症によりの確な判断ができず、取り間違いや思い込みにより誤飲・誤食事故のリスクが高まると考えられます。



写真：独立行政法人国民生活センター資料から

包装シート（PTPシート）の誤飲に注意

9月、高齢者による薬の誤飲事故の原因として最も多いのが薬の包装シート（プラスチックにアルミなどを張り合わせたもの）の誤飲であることが消費者庁の調査で分かりました。

平成21年9月から今年の7月までに消費者庁に寄せられた、65歳以上の人の食品以外での事故情報は165件あり、最も多かったのが「内服薬などの包装」で全事故の42%を占めました。特に包装シートを1錠ずつ切り離し誤飲してしまったという事例が53件と多く、そのうち3件は入院にいたっています。

1錠毎に切り離した薬をうっかり包装のまま飲みこむと自力で取り出すことは難しく、喉や食道を傷つけたり穴を開けたりする可能性がある上、包装シートはエックス線写真でも写りにくく、内視鏡などで取り出すことになり、発見が遅れると重症化することもあります。

（事例）

「貧血があり、内視鏡検査を受けたところ、十二指腸に包装シートが刺さり、腸に穴が開いていたため手術した。」

「テレビを見ながら5種類の薬を飲んだところ、食道に痛みを感じた。包装シートが1個足りないため受診。内視鏡でやっと取り出した。」

ご家庭では、日ごろから以下の点に注意しましょう。

- ①包装シートを1錠ずつ小さく切り離さないで、その都度、薬だけを押し出して服用する。
- ②食品と薬とそれ以外のものは分けて保管する。
- ③食品以外のものを食品用の容器に移し替えない。
- ④認知症の方が手の届く所に不要なものや危険なものを置かない。
- ⑤医薬品の一包化を活用する。

（1回に何種類かの錠剤を服用する場合に薬局で1袋にまとめることを言います。）

※薬によっては吸湿性や光に弱いなどの理由により、一包化できないものもあります。

【誤飲事故が発生した時の対応】

- ・患者の状態や誤飲したもの・量を確認した上で直ちに医療機関を受診する。
- ・吐かせることで逆に症状が悪化することもあるため、むやみに吐かせない。

緊急時のためにも、日ごろから病院等の連絡先を確認しておきましょう。

法人の確定申告は便利な電子申告（eLTAX）で！

法人町民税・事業税・^{エルタックス}地方法人特別税の申告、各種届出は更に利用しやすくなった電子申告（eLTAX）をご利用ください。

詳しい内容はホームページ（<http://www.eltax.jp>）をご覧ください。



■お問い合わせ：上川総合振興局地域政策部 名寄道税事務所課税係 TEL 01654-2-4148